

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		食品開発科学科		
科目名称	道徳の理論と指導法						授業形態		講義	
科目コード	410801	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	曾我 文敏								ICT活 用	○
授業概要	本授業では、道徳教育（道徳授業）ができる教師としての資質・能力をベースとしながら、道徳教育の構造、道徳教育の歴史、道徳性の発達に関する諸理論、学習指導要領改訂の趣旨と見方・考え方、道徳科の授業づくりなど、道徳教育（道徳授業）が実践できる知識や指導方法等を学ぶ。特に本授業の後半においては、読み物教材の分析と発問構成の演習、学習指導案の作成と模擬授業の実践の中で、発展的に主体的・対話的で深い学びのある授業についての演習にも取り組む。担当者としても、これまでの学校現場等での実践研究を生かし、それに裏打ちされた授業を展開する。									
関連する科目	教育の方法及び技術									
授業の進め方 と方法	①授業の中では、個人思考だけではなく、グループでの思考の場（グループディスカッション）も取り入れる。授業において、一人一人の学生が多様な考え方に触れ、自己の考えを深めることができるとともに、学生相互のコミュニケーションを図ることができるようにする。 ②個別質問学習を行い、教員が受講している学生一人一人に質問する中で、教員と学生とのコミュニケーションを図るようにする。 ③学生や担当教員による模擬授業を行い、学生が教師の立場、児童生徒の立場を体験することにより、道徳授業のよさや難しさを体感し、更なる道徳教育への理解を深めるようにする。									
授業計画 【第1回】	1 道徳教育とは・道徳教育の構造 (1) 学習指導要領総則における道徳教育に関する記述（道徳教育の目標） (2) 道徳教育の構造 (3) 道徳科の目標 (4) 道徳性を構成する諸様相 (5) 道徳科の特質									
授業計画 【第2回】	2 道徳教育の歴史 (1) 近代以前の道徳教育 (2) 戦前の道徳教育 (3) 戦後の道徳教育 (4) 道徳教育に関する学習指導要領改訂の概要									
授業計画 【第3回】	3 道徳性の発達に関する諸理論 (1) 道徳性発達の諸理論 (2) コールバーグの道徳性発達理論 (3) コールバーグ理論と道徳教育 (4) モラルジレンマ学習									
授業計画 【第4回】	4 学習指導要領改訂の趣旨と見方・考え方 (1) 学習指導要領「道徳教育」の改訂内容 (2) 道徳科の指導内容 (3) 道徳科の評価 (4) 学習指導要領改訂を踏まえた道徳授業の在り方 ○ 質の高い3つの指導方法									
授業計画 【第5回】	5 道徳授業構築の具体論（道徳科学習指導案作成の具体論） (1) 学習指導案とは (2) 道徳科学習指導案の様式・内容 (3) 道徳科学習指導案の作成 ○ 教材分析表の作成（「食に関する指導」に関連する教材）									
授業計画 【第6回】	6 道徳科学習指導案の作成 (1) 教材分析表の作成（「食に関する指導」に関連する教材） (2) 「ねらい」の設定と発問構成									
授業計画 【第7回】	7 道徳授業の実際 1 (1) 模擬授業演習（グループワーク） (2) 模擬授業の相互評価									
授業計画 【第8回】	8 道徳授業の実際 2 (1) 模擬授業演習（グループワーク） (2) 担当教員による模擬授業 (3) 授業「道徳教育」のまとめ									
授業計画 【第9回】										
授業計画 【第10回】										

授業計画 【第11回】	
授業計画 【第12回】	
授業計画 【第13回】	
授業計画 【第14回】	
授業計画 【第15回】	
授業の到達目標	①道徳教育の構造、歴史及び道徳性発達の基本的な考え方を理解することができる。 ②道徳科の特質とそれを踏まえた授業構築の理論を理解することができる。 ③読み物教材の分析や発問構成の演習を通して、道徳科の学習指導案を作成し、模擬授業を行うことができる。 ④これまでの道徳教育（道徳授業）の成果と課題を踏まえ、今後の道徳教育（道徳授業）の在り方を思考し表現することができる。 ⑤道徳教育（道徳授業）に求められる、教師の資質・能力を理解することができる。
学位授与の方針 （DP）との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-（1）／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-（1）／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-（3）
授業時間外学習【予習】	授業の中で、次回の内容（課題）を提示するので、関連情報を収集しまとめる。（1時間程度）
授業時間外学習【復習】	授業で学んだ内容を振り返り、要点を整理する。（1時間程度）
課題に対する フィードバック	①定期試験終了後は、フィードバックの時間を設定し、模範的な解答について説明する。学生からの質問等があれば更に説明を加える。 ②模擬授業を実施する際は、事前に評価シートを提示し、成果や課題について学生相互に評価する。最後に担当教員が、総合的な評価を行う。
評価方法・基準	定期試験とレポートの成績で評価する。 定期試験60点 レポート40点
テキスト	担当教員が授業ごとに作成し配布する。
参考書	○ 「道徳の教科化に思う」（冒我文敬著 平成30年1月） ○ 小学校学習指導要領（平成29年3月 文部科学省） ○ 小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編（平成29年7月 文部科学省） ○ 中学校学習指導要領（平成29年3月 文部科学省） ○ 中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編（平成29年7月 文部科学省）
備考	